

令和7年度

事業計画書及び収支予算書

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

目指します!!

「地域経済の持続的発展」

大府商工会議所

大府商工会議所憲章

大府商工会議所は、“大府ブランドを世界に”の崇高なビジョンの下、時代の流れを読み、世界に発信できる“大府ブランド”の創造に向け、地域経済の活性化と「住んで良し」「訪れて良し」の魅力ある地域づくりに、地域一丸となって取り組みます。

<基本理念>

我々は、地域の総合経済団体として、会員企業・事業所の繁栄を市民・地域の繁栄につなげることにより、「地域経済の持続的発展」を目指します。

<行動規範>

我々は、「情熱」と「使命感」を持ち、
失敗を恐れず、
「チャレンジ精神」をモットーに、
スピード感をもって行動することを誓います。

平成31年4月1日

大府商工会議所

目 次

はじめに	1
I 事業計画	
1 基本理念	2
2 活動方針	2
(1)会員企業のニーズを踏まえた経営改善支援	2
(2)地域の賑わい創出・ブランド化への貢献	2
(3)経済界や地域の声を的確に反映した行政への提言と要請	2
(4)親しまれる商工会議所の実現	2
3 活動のねらいと主要実施事項	2
(1)企業の経営基盤安定化と地域経済の元気回復	2
(2)「持続可能なものづくり集積地」の形成	3
(3)「健康で働きやすい持続可能な経営」の実現	3
(4)「持続可能なまちづくり」の推進	3
(5)商工会議所の基盤強化	4
4 会議	4
5 部会活動	5
6 事業所に寄り添った経営支援	6
7 実施事項	7
II 収支予算	
1 総括表	13
2 一般会計収支予算書	14
3 中小企業相談所特別会計収支予算書	17
4 共済事業特別会計収支予算書	19
5 労働保険事務組合一般会計収支予算書	20
6 特定退職金共済事業特別会計収支予算書	21
7 商品券事業特別会計収支予算書	22
8 財政調整資金積立金特別会計収支予算書	23
9 退職給与資金積立金特別会計収支予算書	24
10 労働保険事務組合労働保険料特別会計収支予算書	25

はじめに

現在の景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。(令和7年2月内閣府 月例経済報告)

このような経済状況の中、大府商工会議所では、「地域経済の持続的発展」を目指して「中小企業の活力強化」と「地域の活性化」を車の両輪として、力強く事業活動を進めて参ります。特に会員ニーズが高い人材不足の解消、人材育成、原材料価格・電気代高騰への対応、生産性の向上、販路開拓、事業承継、リスク管理については、事業所に寄り添った伴走型支援を実施し、事業所が抱える課題の解決に努めます。

中小企業は雇用の7割を抱え、従業員、家族を合わせると人口の半分を上回ります。私たち中小企業、小規模事業者の成長なくしては日本、地域の成長はないとの考えを改めて強く意識するとともに、令和6年度の実績と評価を踏まえて、PDCAをしっかりと回して支援に取り組んでまいります。大府市始め関係団体には変わらぬご支援・ご協力を、また、各部会・委員会・支部・青年部・女性会には、一層の活動をお願いいたします。

I 事業計画

1 基本理念

「地域経済の持続的発展」

～ 会員企業・事業所の繁栄を市民・地域の繁栄に ～

2 活動方針

(1) 会員企業のニーズを踏まえた経営改善支援

時代の変化を読み、地域のニーズや特性を踏まえながら、人・モノ・情報・資金などの限られた経営資源をフルに活用して、会員企業・事業者の持続的繁栄を支援します。

(2) 地域の賑わい創出・ブランド化への貢献

「企業・事業者の繁栄」が「地域の賑わい」につながり、それがまた「企業・事業者の繁栄」につながる上昇型の関係を作ります。また、地域の担い手である行政・農業者・教育研究機関・市民団体・住民などと連携して、地域資源の更なる発掘と活用に努めます。

(3) 経済界や地域の声を的確に反映した行政への提言と要請

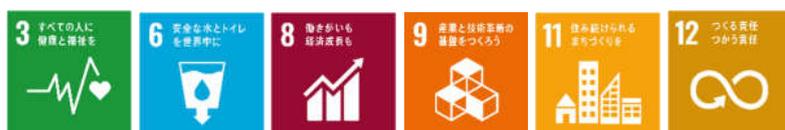
地域のオピニオンリーダーとして、企業・事業者の経営課題や地域課題の解決に向けて、積極的な政策提言や要請活動を実施します。

(4) 親しまれる商工会議所の実現

会員ファースト・会員目線で時代や環境の変化に即応した事業・サービスを展開して成果を上げ、会員の皆様の満足度を高めます。そして、会議所の組織率や財力を高め、会議所自体においても持続的な発展を目指します。

3 活動のねらいと主要実施事項

(1) 企業の経営基盤安定化と地域経済の元気回復



エネルギー価格・物価高騰、最低賃金引き上げや人手不足等様々な事業環境変化による影響を受けている中小企業・小規模事業者の経営相談や各種申請等の伴走型支援を実施し、経営基盤の安定化と地域経済の元気回復を目指します。

専門家による経営相談体制強化の継続

巡回・窓口指導の拡充

インボイス制度・電子帳簿保存法への対応

★ 販路開拓支援

★ 価格交渉・価格転嫁相談への対応

※★__重点実施事項

(2) 「持続可能なものづくり集積地」の形成



大府の強みである「ものづくり」の集積を高め繁栄させることにより、地域経済の持続的発展を実現するとともに、地域の社会課題の解決にも貢献します。

経営計画の策定支援

★ 生産現場の生産性向上支援

融資・補助制度等の紹介と活用支援

★ ものづくり人材の確保と人材育成支援

★ リスクマネジメント支援【事業継続力強化計画作成支援(BCP)】

★ 省エネルギー設備導入支援

カーボンニュートラルの取り組み支援

★ スタートアップとの連携支援強化

(3) 「健康で働きやすい持続可能な経営」の実現



重要な経営資源である優秀な人材を確保し続けることができる、労働環境・職場づくり等を通して、収益性が高く健全で持続可能な企業を育成します。

健康経営の普及・啓発と事業所間の交流促進

経営発達支援計画に基づく小規模事業者支援

★ 人材の確保と育成支援

★ 創業・第二創業・事業承継の支援

女性活躍推進の普及・啓発

(4) 「持続可能なまちづくり」の推進



生産性を向上させると共に、優秀な人材を呼び込み、定住させることのできる質の高いインフラ整備により、持続可能な経済成長と健康、衛生、防災・減災、環境などの社会課題の解決に努めます。

また、個店の魅力発信による商業・サービス業の活性化を通してまちのにぎわい創出に努めます。

★ 道路を始めとする都市基盤の整備に係る提言・要請

地域で共有する都市ビジョンの具体化(意見交換会による意識の共有化)

部会、委員会、支部活動の活性化

- ★個店の魅力発信(店舗 PR、ふれあいゼミナール、大府市ふるさと納税返礼品)
- ★地域資源を活用した賑わい創出(花めぐり、マルシェ、夜市、バイオリン等)
- 環境など様々な社会課題の解決に向けた研究

(5) 商工会議所の基盤強化

- 事業・サービスの満足度向上
- 商工会議所の生産性向上と活動の見える化
- 組織・財政基盤の強化

4 会 議

名 称		内 容
主 要 会 議	議員総会	通常2回（5月、3月） 臨時1回（10月）
	常議員会	定例4回（5月、9月、11月、3月） 臨時2回（7月、10月）
	正副会頭会議	年12回以上（毎月開催）
	幹部会議	年1回以上
	本支部連絡会議	年2回以上
	監事会	年1回以上
委 員 会	常設委員会 ①総務 ②会員拡大 ③地域開発	必要に応じて正副委員長会議、合同委員会などを開催
	特別委員会 新ビジョン推進特別委員会	随時開催
	金融審査会	随時開催

5 部会活動

部会名	実施事項(実施予定月)
商 業	<p>部会会議 ・役員会開催（7月、3月）、合同分科会開催（毎月1回）</p> <p>個店の魅力発信 ・東浦町商工会と連携した多業種を対象とした店舗PR事業の実施(通年)</p> <p>個店のファンづくり ・「ふれあいゼミナール」の推進（夏、冬）</p> <p>個店のレベルアップ ・時代に即した「実践形式セミナー」の開催(随時)</p> <p>販路開拓、にぎわい創出 ・業種を絞った市内店舗活性化事業の実施（10月～12月） ・大府駅西金曜マルシェ、大府みどり公園へのキッチンカー出店支援（随時） ・大府駅、共和駅周辺の賑わい創出事業（随時） ・SNSによる情報発信（随時） ・PR動画作成事業（随時） ・大府市ふるさと納税返礼品の発掘（随時） ・視察研修の実施（随時） ・地域イベントへの協力（随時） （おおぶ桜ハナモモ花めぐり、つつじまつり、産業文化まつり、夏まつり等） ・スタートアップとの連携</p> <p>その他 ・行政への要請とりまとめ（7月）</p>
製造業	<p>部会会議 ・役員会開催（6月、9月、12月、3月）</p> <p>職場環境改善、生産性向上 ・現場カイゼン実践塾の実施（通年） ・各種補助金、経営改善・生産性向上に繋げるセミナーの実施（随時） ・安全体感・体験研修会（7～8月頃） ・安全体感道場の開催（2～3月頃） ・市内・市外企業視察等の実施（随時） ・商談会等への参加 ・スタートアップとの連携</p> <p>その他 ・行政への要請とりまとめ（6月）</p>
建設業	<p>部会会議 ・役員会開催（6月、2月）</p> <p>住宅修繕相談事業 ・「住宅修繕相談」実施（通年 第2・4水曜日） ・「火災警報器・家具転倒防止金具の取付」実施（随時）</p> <p>資質向上 ・視察研修の実施（随時） ・住宅の耐震化・減災化の促進支援（随時） ・スタートアップとの連携</p> <p>奉仕活動 ・市内清掃活動（12月）</p> <p>その他 ・行政への要請とりまとめ（6月） ・補助制度等の情報収集・提供</p>

情報・物流・サービス業	<p>部会会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会開催（6月、3月） <p>資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド配信 WEB セミナーの実施（通年） ・セミナー（講習会）の実施（年2回程度） ・求人ポータルサイトと求人検索サイトを併用した求人支援活動の実施 ・スタートアップとの連携 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政への要請とりまとめ（6月）
-------------	--

6 事業所に寄り添った経営支援

事業所経営のステージに応じたきめ細かな支援により、事業所の持続的発展を目指します。

段階	目標	取組内容	手法
創業期	起業	市場調査支援 事業計画作成支援 金融支援など	1. 準備 行政や日商など他団体の支援 情報・先進事例の収集・研究
確立期	発展・飛躍	記帳指導 税務指導 金融支援 販路開拓支援など	2. 周知・啓発（情報発信） 会報、HP、会議、巡回・窓口指導など
成長期	安定・改善	経営改革支援 新商品開発支援 新事業展開支援 販路開拓支援など	3. 動機づけ（集団支援） 講演会、研修、セミナー、視察、相談会、商談会、交流会など
衰退期	再生・承継	事業再生支援 事業承継支援 廃業支援など	4. 実践（個別支援） 個別相談、専門家相談、専門家派遣など
			5. フォローアップ 巡回指導（経営状況把握）
			6. 会議所の対応が難しい場合は 士業や県関係機関などの紹介・斡旋

7 実施事項

項目	令和7年度 内容 下線_新規・変更事項	令和7年度 手段・目標 下線_新規・変更事項	重点	新規	活動方針				令和6年度の取組と評価		担当部署		
					経営 支援	にぎわ い創出	要請	親しま れる会 議所	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×			
企業の 経営 基盤 安定化 と 地域 経済 の 元 気 回 復	1 タイムリーかつ迅速な 情報提供	・国、県、市等の各種補助金、助成金等支援策 の迅速な情報提供	・会報・HP等に周知を図るとともに、必 要に応じてセミナー・個別相談を実施し て個社支援に繋げる。			○			○	◎	・「小規模事業者持続化補助金」に関しては、利用者の声を会報に載せ、 活用事例を周知した。税務では「定額減税」について不安の声があった が、迅速にセミナーを開催し、その後は職員で対応をした。	相談所	
	2 相談窓口の強化	・国、県、市等の各種補助金、助成金等の申請 支援 ・窓口・巡回相談の拡充 ・インボイス制度への対応 ・価格交渉・価格転嫁相談への対応	・国の補助事業等の紹介や専門家による個 別相談を拡充して申請を支援 ・窓口・巡回相談を延べ1,800回実施し、経 営基盤強化を図る。 (ふるさと納税品発掘・開発、先端設備導 入計画申請支援)	●		○			○	◎	・窓口・巡回相談については、持続化補助金の公募回数が少なかつたため 事業計画の相談自体は減少したが、それ以外の相談（労働保険、税務相 談、求人支援等）も多く、令和6年12月末時点で1,876件の実績が上が り、目標を達成している。 ・経営発達支援計画の改訂 ・9/18経営計画作成セミナーを東浦と共催にて実施(参加事業者数9事業所 内訳大府4東浦5) 受講者が持続化補助金に挑戦する為の基礎知識を習得してもらった事 ができた。	相談所	
	3 経営計画作成支援等の 拡充	・外部環境の影響を受ける事業者の持続的発展 を目指した経営計画書作成支援	・経営計画作成セミナー (目標：年1回、参加者数10名)			○							相談所
	4 支援施策等の要請	・事業所や地域の実態に沿った行政への要請	・市議会議員と当所(支部や部会等)との 意見交換の機会を設けとりまとめを実施 し、効果的な行政への要請を行う。 ・知多地域経済会議の運営と幹事会議所と して知多5市5町12団体の取り組みを行 う。	●					○	○	◎	・各支部と市議会議員との懇談会の実施(大府・共長6/27、横北・吉森 ・7/9) 市の事業・取組に対する要請提出(10/1) 回答受領(11/18)	総務企画課
	5 青年部・女性会の活動 支援	・地域を元気づけるイベントの開催 ・会員の資質向上を目指す研修会、地域活性化 及び交流を深める事業の実施 ・現状に見合った組織づくり	(青年部・女性会共通) ・各種地域の祭りへの参加 <青年部> ・政策提言、職業体験会、地域活性化事 業、研修会、交流会の実施 <女性会> ・研修会、他女性会との交流会の実施						○	○	◎	(青年部) ・地域のまつりに参加し、地域との交流を深めることができた。職業体験 (キッズワーク)は、衆議院選挙のため急な会場変更を余儀なくされた が、内容変更も最小限に留める形で開催できた。資質向上のためテー ブルマナー研修会、大府道、政策提言に向けた風交流会等新しい取組を行 うことで、会長所信「温故知新〜楽しく挑戦、MOON SHOT!〜」を体 現できた。 (女性会) 「最高のチームのつくり方」と題しセミナーを開催。女性会員だけに限 らず、会議所会員にも広く周知し、48名が参加。自己研鑽に励んだ。豊 川商工会議所女性会が大府を視察され、大府女性会役員も同行。大府市 のPRをし、交流会を実施した。貴重な情報交換となった。 市主催事業や、地域の事業にも積極的に協力した。	相談所
	6 地域経済の活性化支援	・プレミアム商品券発行 ・魅力あるまちづくりの支援	・市と調整のうえ、商品券発行事業を実 施。 ・おおぶイベント協会の自主運営に対す る支援や近隣団体と連携した地域商業活 性イベントの実施(目標：3回) ・移動販売車活用支援事業の推進 (目標：利用事業所 延 15件)	●					○	○	◎	・42,000シート発行・総額2億5,200万円(プレミアム4,200万円) ・商品券参加事業所 330件 ・ハガキ申込798件・1,587枚、Web申込14,623件・57,166枚の合計 15,421件・58,753枚の申込みを受付し、減シートによる抽選を実施。当選通 知を発送、9月7日～13日まで商工会議所にて引換販売を実施した。引換 されなかった残シート約1,700枚を9月28日に2次販売(先着順)し、 42,000シート全てを完売 ・移動販売車を会員企業等に無料で貸し出し、新商品の販売や販路拡大に 繋げた。(9事業所へ延10回貸出) ・駅周辺のにぎわい作り事業として、「おおぶ川辺の夜市」(8/22)を大府 駅西金曜マルシェと連携して開催(来場者延200名) ・毎週金曜日、大府駅西口にてキッチンカーによる新たな販売の取組み を実施。市内26店舗が協力	相談所・ 総務企画課
「持 続 可 能 な も の 成 り 上 り 集 積 地」	経営計画の策定支援	1 小規模事業者の経営計 画策定支援	・小規模事業者の持続的発展に繋がる経営計画 策定支援(再掲)			○				○	・事業環境変化対応各種支援策の申請サポート・個別相談を実施し、補助 金などの申請に対応(4月4日～1月23日まで計39回開催、延相談件数151 件) ・9/18経営計画作成セミナーを東浦と共催にて実施(参加事業者数9事業所 内訳大府4東浦5)	相談所	
	生産現場の生産性向上支援	2 攻めのIT活用	・生産性向上に繋げる生産現場のIT・IoT 化支援	●		○				○	◎	・①8/26エクセルセミナーや②10/8AIを活用した業務改善、③11/12,19生 成AIを使った動画制作セミナーを開催。(参加者①18名②19名③14名、 14名) ・大府ビジネスカレッジにて、「ものづくり現場に必要な考え方と業務改 善」を実施し、生産性向上の為に必要な知識を習得する機会を提供(参 加者7名) ・「協働ロボット導入と一緒に考えるミーティング(愛三工業)」を開催 (12/13)_11社20名の参加 ・生産性向上に取り組む市内企業視察「株東海理機」を開催(1/29)_11社 16名の参加	相談所

項目	令和7年度 内容 下線_新規・変更事項	令和7年度 手段・目標 下線_新規・変更事項	重点	新規	活動方針				令和6年度の取組と評価		担当部署				
					経営 支援	にぎわ い創出	要請	親しま れる会 議所	◎ ○ △ ○ ×	◎ ○ △ ○ ×					
「 持 続 可 能 な も の づ く り 集 積 地 」 の 形 成	・ 生産現場の生産性向上支援	2 攻めのIT活用	・ 付加価値や生産性の向上を図る補助金の活用支援(持続化補助金など)	・ 各省庁の支援事業を把握したうえで、周知を図り、個社の付加価値や生産性向上を図る事業化を支援 (目標：持続化補助金他20件)	●					◎	◎ ○ △ ○ ×	・ 目標を上回って達成できた ・ 目標をほぼ達成できた ・ 目標は達成できなかった ・ 事業を実施できなかった	相談所		
			・ ITリテラシー習得セミナーの実施	・ 現場支援のためのIT習得セミナーを実施 高度な内容については、専門家及び関係支援機関と連携した支援を実施							○	○	・ ①AIを活用した業務改善セミナー、②生成AIを使った動画制作セミナーを実施(参加者：①19名②14名) ・ エクセルセミナーを実施(参加者：19名)	相談所	
			・ 経営セミナー無料配信サービスの拡充	・ 社会経済情勢に対応した多様なコンテンツを盛り込んだWebセミナーを配信し活用を促す。							○	○	・ 一般経営―研修―人材育成―労務―税務―経理―実務家―など多様な700以上のオンデマンドセミナーの無料配信を実施。アクセス数1,113(令和6年12月31日現在)	相談所	
		3 攻めの新分野・新産業進出	・ STATION AIパートナー拠点(大府市ウェルネスバレー推進協議会)として大府市、愛知県、STATION AIとの相互・協力	・ 大府市、愛知県(スタートアップ推進課)、STATION AIとの連携。スタートアップを起爆剤とした市内企業とのイノベーション創出に取り組む。	●						○	◎	・ 小中学生の起業体験ワークショップ―AICHI STARTUP SCHOOL 2024―の誘致、開催(小学生の部8/3_AM26名,PM32名参加、中学生の部8/31_9名参加) ・ スタートアップ(株MIRAERA)と連携した―健康経営無料相談窓口―を開設(8/21,9/18,10/16の事前予約制オンライン相談会の実施_2件の相談) ・ スタートアップ(株musbun)と連携した―新卒採用に向けてZ世代を知ろう!セミナー―の開催(12/23)_6社6名の参加 ・ スタートアップ(株アウトレ)と連携した―2025年AIトレンドセミナー―の開催(R7.2/27)_13社14名の参加 ・ ―Wellness Valley Startup DAY2024@STATION AI―の開催(R7.3/3、Station Ai)_130名の参加	相談所	
			・ 創業・第二創業・事業承継の促進	・ 実践創業塾や創業個別相談会等を開催して、創業者への助言・指導を積極的に実施する。 ・ 事業承継を考えている会員事業者に大府市・刈谷市・東浦町と共同開催の―事業承継 個別相談会―を紹介、活用する。	●						○	○	・ 実践創業塾(申込者32名、参加者31名、全講座出席者26名) ・ 創業個別相談会(令和6年10月から12月まで月1回・計3回実施。延相談者数5名) ・ 事業承継相談窓口を設置(大府市・刈谷市・東浦町・大府商工会議所・刈谷商工会議所・東浦町商工会)愛知県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し毎月1回大府市・刈谷市・東浦町輪番にて実施(令和6年度実績6件：内大府市内事業所3件)	相談所	
		4 攻めの販路拡大	・ 販路拡大展示会出展者への出展支援	・ アライアンスパートナー発掘市、三河知多地域商談会、メディカルメッセへの参加呼びかけ							○	○	◎	・ メディカルメッセ2024_出展2社(4/18-20、Aichi Sky Expo) ・ アライアンスパートナー発掘市2024_エントリー15社、商談件数29件(7/8-12、名古屋商工会議所) ・ 第18回多治見ビジネスマッチング―企業お見合い―3社(10/25、多治見市産業文化センター) ・ 三河知多商談会_受発注企業2社、商談件数2件(R7.2/13、刈谷市産業振興センター)	相談所
			・ 東浦町商工会との連携による新たな販路開拓に向けたPR事業の実施	・ PRイベントへの参加(目標：延20社) ・ PR冊子の掲載店舗数(目標：40社)	●	●					○	○	◎	・ 1月25日、26日にイオンモール東浦にて逸品展示会を開催。18事業所が参加。体験系店舗やPRイベントを同時開催し、来場者は1,000名	相談所
			・ 魅力あるまちづくりの支援(再掲)	・ おおぶイベント協力会の自主運営化への支援と―おおぶ駅西金曜マルシェ―をはじめとする独自イベントの支援や連携の実施。							○	○	◎	・ おおぶイベント協力会の自主財源強化に向けた会費制を含めた会則の作成を支援。 ・ 駅周辺のにぎわい作り事業として、―おおぶ川辺の夜市―(8/22)を大府駅西金曜マルシェと連携して開催(来場者延200名)(再掲)	相談所
			・ 大府市ふるさと納税品の発掘・開発支援(目標：5事業所)	・ 大府市ふるさと納税品の発掘・開発支援	●						○	○	◎	・ 市との連携支援により、ふるさと納税返礼品の登録事業を案内した。(4事業所)	相談所
		・ 融資・補助制度等の紹介と活用支援	5 資金調達支援	・ 政府系金融・市内金融機関と連携した金融支援及び各種助成制度活用支援	・ 日本政策金融公庫および市内金融機関と連携して、借入を希望する事業者を支援(目標：24件)						○	○	△	・ コロナ融資の返済相談や事業資金・設備資金及び創業希望者からの融資相談を受けて、個別相談会を実施し資金調達を支援した。(日本政策金融公庫11件、愛知県信用保証協会4件 計15件)	相談所
		・ ものづくり人材の確保と育成支援	6 ものづくり人材支援	・ 製造業現場リーダーの育成など人材支援	・ 現場カイゼン実践塾(2S(整理・整頓)・省エネを通したカーボンニュートラルへの取組み)の実施。 ・ 会員企業と連携した―安全体感・体験研修会―の実施	●						○	○	・ 橋本実践塾―第16期生の総括発表会を実施(5/23) ―現場カイゼン実践塾―(※名称変更)第17期生の開講式を実施(6/4)、 ・ 8事業所8名を2つのグループに分け6/18~8/27まで福富金庫、鬼丸、9/3~11/6まで新居浜鉄工所、日本高圧電気、11/12~1/21までFAST、柏木産業、1/28~4/8まで片山ナルコ、愛和金型製作所の8つの会場で改善活動を実施 ・ 市内従業員への安全教育の浸透を図るため、伊ツミ工業協力による―安全体感・体験研修会―を開催(第1回)(6/26)_7社11名の参加、(第2回)(12/4)_3社5名の参加	相談所
				・ 職業訓練校等の活用	・ ポリテクセンターや高等技術専門学校などの活用による人材育成支援(会報・HP等で周知)						○	○	◎	・ ポリテクセンター中部が実施する機械の実践技術研修などの受講案内を会報折込にて全会員へ周知した。 ・ ポリテクセンター中部と連携しExcelセミナーを実施した。	相談所

項目	令和7年度 内容 下線_新規・変更事項	令和7年度 手段・目標 下線_新規・変更事項	重点	新規	活動方針				令和6年度の取組と評価		担当部署			
					経営 支援	にぎわ い創出	要請	親しま れる会 議所	◎ ○ △ ○ ×	◎ ○ △ ○ ×				
「持続可能なものづくり集積地」の形成	・リスクマネジメント支援	7 リスクマネジメント支援	・リスク管理能力の向上	・事業継続力強化計画個別相談会の実施 ・事業継続力強化計画書作成支援(目標:10件)	●				◎	◎	・目標を上回って達成できた ・目標をほぼ達成できた ・目標は達成できなかった ・事業を実施できなかった	相談所		
			・事業における賠償リスク、事業休業リスク、財物損壊リスクの補償や備えとして日商保険制度周知	・日商広告データや冊子・パンフレットを活用して、会報掲載やチラシを同封する。また、窓口相談の展開として内容周知。 ・会員加入時の資料へパンフ等同封。	●				○	○	○	・会報9月号にて災害支援バンクHelpan171パートナー申込書をチラシ封入し、全会員へ周知を図るとともに、賞味期限2年未満のHelpanを保有しているパートナー企業6事業所に対し、防災備品の見直しとHelpanの入替を検討するよう注意喚起した。(3事業所28口受注)←1/30時点 ・事業継続力強化計画策定セミナーを開催し、国の認定制度の概要と取得メリットの周知を図った。(14名参加) ・事業継続力強化計画個別相談会を11~3月で実施し、国の認定申請を支援した。(国の認定取得2件)	相談所	
			・大規模災害に備えた事業所での食料備蓄の推進(ヘルパン171)	・会報、ウェブサイト等で周知年2回のPR(目標:20口)					○	○	○	○	・会報9月号にチラシ封入及びホームページで周知し、3事業所から合計28口を受注した。	相談所
	・環境・食料など様々な社会課題の解決に向けた研究	8 カーボンニュートラル(大府市カーボンニュートラル宣言)に向けた啓発・支援	・環境に配慮した経営の啓発・支援 ・「現場カイゼン実践塾」(省エネを通じたカーボンニュートラルへの取組み)(再掲) ・大府市省エネ補助金の積極的活用	・積極的に取り組む事業所の掘り起しと会報等によるPR(目標:3社) ・会報による周知及び積極的な活用促進	●				○	○	○	・株アンセイ SDGsの取組紹介(6/12取材、8月会報特集) ・IoTによる労務費削減/電力消費量26%削減に繋がった取り組みなど視察「旭鉄工機(碧南市)」(7/16)参加者3社8名 ・市脱炭素経営構築セミナー「脱炭素経営構築のきほんのき」の協力(10/31)参加者24社30名、ワークショップ(第1回)(11/26)参加者3社4名、(第2回)(12/20)参加者3者4名 ・現場カイゼン実践塾での省エネ改善事例などを会報で適宜紹介	相談所	
「健康で働きやすい持続可能な経営」の実現	・働きやすい職場づくりの支援と働き方改革関連法の周知	1 従業員の心と体の健康推進	・行政、協会けんぽ等と連携した健康経営施策の普及 ・健康経営優良法人認定祝賀フォーラム健康経営実践事業所 担当者交流会(目標:参加事業所20社) ・健康経営取組体験セミナー 会員事業所、関係機関による取組支援のマッチング(目標:5社) ・健康経営アドバイザー資格更新						○	○	◎	・健康経営優良法人認定事業所を対象とした祝賀フォーラムを開催(大府市・協会けんぽ共催)28事業所36名出席 ・優良法人認定新規申込事業所のヒヤリング、支援策案内(4事業所) ・健康経営セミナーの開催(大府市・協会けんぽ共催)参加者12事業所17名 ・健康経営実践企業交流会(大府市・協会けんぽ共催)参加者13事業所16名 ・健康経営アドバイザー資格更新 ・大府商工会議所健康経営優良法人認定の更新	総務企画課・相談所	
		2 職場環境の健康を推進	・中小・小規模事業者向け定期健康診断の実施 ・中京サテライトクリニックによる集団検診(目標:年2回、受診者340名)					○		○	◎	・10/30、11/26の2回実施 受診者354名	相談所	
	・経営発達支援計画に基づく小規模事業者支援	3 持続可能な事業所経営の推進	・的確な支援のための実態調査とニーズ把握	・会員アンケートの実施による管内事業者の現状・支援ニーズの把握					○		○	○	・5年以内未接触事業所と接触し、各種支援策、共済等の紹介をすると共に事業所のニーズ把握に努めた。(65事業所R7.2.7現在) ・R6、7月に会員ニーズ調査を実施し、課題解決事業の基礎資料を作成 ・経営発達支援計画改訂	相談所
			経営発達支援計画に基づいた小規模事業者等への段階的な支援(再掲)	・経営計画作成セミナー(目標:年1回、参加者数10名)(再掲)					○		○	○	・事業環境変化対応各種支援策申請サポート個別相談を実施し、補助金など申請に対応(4月4日~1月23日まで計39回開催、延相談件数151件)(再掲) ・9/18経営計画作成セミナーを東浦と共催にて実施(参加事業所数9事業所内訳大府4事業所東浦5)(再掲)	相談所
			・経営革新申請、ものづくり補助金申請事業所の発掘	・コーディネーターと連携した管内事業者の掘り起こし・相談対応(目標:20件)					○		○	◎	・持続化補助金5件(再掲)	相談所
	・人材の確保と育成支援	4 人材確保、定着、育成支援	・求人ポータルサイトにて会員事業所の求人の直接支援を実施	・専門家と同行し求人の直接支援を行う(目標:15件)	●				○		○	○	・働き方改革推進助成金を活用し、indeedと紐づけ可能な求人ポータルサイトを作成。専門家と同行し会員事業所の直接支援を実施(12件)	相談所
			・オンライン対応の採用活動(合同説明会・面接)支援	・雇対協と連携し、人材確保に繋がるセミナーの実施					○		○	○	・雇対協と連携し、採用力強化セミナーを2回実施した。(4事業所4人)※3月13日分未入力	相談所
			・雇用対策協議会、知多地域学生就職情報センター、産業雇用安定センター、ポリテクセンターと連携した人材確保支援	・雇対協就職イベントの協力					○		○	○	・雇対協に協力し、採用担当教員と企業との懇談会(37社40校)、就職フェア(①大府単独25事業所56名来場②刈谷大府合同52社151名来場③周辺8市町合同86社120名)、企業見学会(12社20校)、刈谷工科高校(17社)、東浦高校(10社)での会社説明会を実施した。 ・知多地域学生就職情報センター(るびあん)の会社説明会を実施した。45事業所23名来場	相談所
・中核人材育成のためのセミナーを企画			・大府ビジネスカレッジの開催	●				○		○	○	・ブランディング、ものづくりの2つのテーマに分けセミナーを開催した。(延4回、延33名参加)	相談所	

項目	令和7年度 内容 下線_新規・変更事項	令和7年度 手段・目標 下線_新規・変更事項	重点	新規	活動方針				令和6年度の取組と評価		担当部署				
					経営 支援	にぎわ い創出	要請	親しま れる会 議所	◎ ○ △ ○ ×	◎ ○ △ ○ ×					
「持続可能なまちづくり」の推進	部会、委員会、支部の活性化	3 まちのにぎわい創出	・ 青年部・女性会・支部・観光協会・その他関係団体等と連携した"にぎわい"創出事業	(青年部・女性会共通) ・ 各種地域の祭りへの参加 <青年部> ・ 政策提言、職業体験会、地域活性化事業、研修会、交流会の実施 <女性会> ・ 研修会、他女性会との交流会の実施					◎	◎	・ 目標を上回って達成できた ・ 目標をほぼ達成できた ・ 目標は達成できなかった ・ 事業を実施できなかった	相談所			
			・ 文化芸術イベントの開催	・ 今年度は実施予定なし。					○	◎	◎	・ 産業文化まつりでの「そろばん体験会」開催(10/26) 未就学から小学校低学年を中心とした200名以上の子供たちが参加。来場した保護者にもアンケートを実施し、親子で「そろばん」に関心をもち、楽しんでもらえるイベントとなった。	総務企画課		
			・ ウェルネスバレー・ヘルスケア産業の創出	・ ウェルネスバレーブランド事業の推進(制度の周知を実施)					○	○	○	◎	・ ブランド認定4件内2件更新 ・ ウェルネスバレーヘルスケア産業振興WG、にぎわいWGに参加。医療、福祉施設と意見交換を行い、ニーズの把握に努めた。	相談所	
			・ 個店の魅力発信 ・ 個店のファンづくり ・ 個店のレベルアップ	・ 東浦町商工会と連携した店舗PR(目標:40店)(再掲) ・ 「ふれあいゼミナール」の推進(夏・冬)(目標:70講座) ・ 「実践形式セミナー」の開催(目標:3回) ・ 大府市ふるさと納税事業所の発掘・開発支援(目標:5事業所)(再掲)	●				○	○	○	◎	・ ippinLABO2024 参加店舗:34店舗(大府23店舗、東浦11店舗) 展示会(R7.1.25.26)出展店舗:18店舗、来場者:約1,000人(再掲) ・ ふれあいゼミナール(夏・秋)の開催 実施講座数:69講座、参加店舗数:61店舗 ・ 商業セミナー開催数:4回 Canva活用セミナー(18事業所、21名)、聞く力・話す力向上セミナー(3回コース)(延24事業所37名) ・ 大府市へのふるさと納税返礼品登録紹介(4事業所)(再掲)	相談所	
			・ 「おおぶ桜ハナモモ花めぐり」実施による観光資源の磨き上げ ・ 「バイオリンの里大府」実施による観光資源としての磨き上げ ・ 夏まつり等地域イベントへの積極的関与	・ おおぶ桜ハナモモ花めぐりライトアップイベントの開催 ・ 音楽を交えた地域活性化イベントの開催 ・ 夏まつりの持続的開催に向けた支援	●				○	○	○	◎	・ おおぶ桜ハナモモ花めぐりライトアップイベント(3/15-4/13)の開催、花めぐりウォーキング(3/29)の開催。同時期にフォトコンテスト(3/1~4/13)を実施 ・ おおぶ夜市(6/22)、おおぶ川辺の夜市(8/23)、きょうわ夜市(8/25)、「バイオリン/フィドル音楽の休日2024」(5/19)の開催 ・ 大府夏まつりの持続的開催に向け、補助金申請や運営見直し等の支援を実施	相談所	
		・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施(再掲)	・ 支部、市議会との懇談会による意見交換(再掲) ・ 本支部連絡会議の開催(1~2回)(再掲)	●					○	○	◎	・ 各支部懇談会の実施(大府・共長6/27、横北・吉森7/9) ・ 本支部連絡会議の開催(1回)8/9(再掲)	総務企画課		
	・ 環境・食料まで様々な社会課題の解決に向けた研究	4 カーボンニュートラル(大府市カーボンニュートラル宣言)に向けた検討(再掲)	・ 環境に配慮した経営の支援(再掲)	・ 積極的に取り組む事業所の掘り起しと会報等によるPR(目標:3社)					○	○	△	・ 株アンセイ SDGsの取組紹介(6/12取材、8月会報特集)(再掲) ・ IoTによる労務費削減/電力消費量26%削減に繋げた取り組みなど視察「旭鉄工機(碧南市)」(7/16)参加者3社8名(再掲) ・ 市脱炭素経営構築セミナー「脱炭素経営構築のきほんのき」の協力(10/31)参加者24社30名、ワークショップ(第1回)(11/26)参加者3社4名、(第2回)(12/20)参加者3者4名(再掲) ・ 現場カイゼン実践塾での省エネ改善事例などを会報で適宜紹介(再掲)	相談所		
商工会議所基盤強化	1 事業・サービスの満足度向上		・ 会員メリットの見える化による会員満足度向上	・ 会員交流会の開催(目標:2回)					○	○	○	・ 会員交流会を実施(7/10) ・ 刈谷商工会議所と合同ビジネス交流会を実施(10/23) ・ 産業文化まつり会場にて交流会を実施(10/27)	総務企画課		
			・ メディア掲載数拡大に向けたプレスリリースの質的向上及び当所広報強化	・ 会員含め、行政・関係団体等との情報共有を密にし、有益な情報を発信 ・ メディアとの定期的な情報交換					○	○	○	◎	・ 記事掲載件数33件(令和7年1月28日現在) ・ メディアとの情報交換会開催(令和6年7月5日)	総務企画課	
			・ 正副会頭と支部との意見交換会の実施(再掲)	・ 支部、市議会との懇談会による意見交換(再掲) ・ 本支部連絡会議の開催(1~2回)(再掲)	●					○	○	○	◎	・ 各支部懇談会の実施(大府・共長6/27、横北・吉森7/9) 本支部連絡会議の開催(1回)8/9(再掲)	総務企画課
			・ 現場主義、双方向主義の徹底	・ 巡回・窓口相談での事業者ニーズの掘り起こし					○	○	○	○	◎	・ 5年以内未接触事業所と接触し、各種支援策、共済等の紹介をすると共に事業所のニーズ把握に努めた。(86事業所R7.2.28) ・ R6.7月に会員ニーズ調査を実施し、課題解決事業の基礎資料を作成	相談所・ 総務企画課
			・ 会議所活動の見える化による会議所利用促進	・ ホームページやSNS・会議所案内パンフレットの活用					○	○	○	○	◎	・ HPやSNS、会議所案内にて会議所の利用促進を図った。	相談所・ 総務企画課
	2 商工会議所の生産性向上と活動の見える化		・ 所内の生産性向上(業務の効率化)	・ 手続き、書類等の見直し(目標:5件) ・ 業務内容の見直し(目標:5件)						○	◎	◎	・ 会員管理新システムの運用を開始 ・ 業務効率化のため改善を実施	総務企画課 ・ 相談所	
			・ 目標管理による人事考課と人材育成	・ 人事考課制度の実施						○	○	○	◎	・ 年度当初、中間、年度末面談を実施。目標管理の進捗状況を確認。人事考課による人材育成に努めた。	総務企画課

項目	令和7年度 内容 下線_新規・変更事項	令和7年度 手段・目標 下線_新規・変更事項	重点	新規	活動方針				令和6年度の取組と評価		担当部署		
					経営 支援	にぎわ い創出	要請	親しま れる会 議所	◎ ○ △ ○ ×	◎ ○ △ ○ ×			
商 工 会 議 所 基 盤 強 化	2 商工会議所の生産性向上と活動の見える化	・ 商工会議所自体の働き方改革、健康経営の推進	・ 健康習慣アンケートの実施 ・ 健康課題解決に向けた取り組み（セミナー、体験会）の実施(目標：2回) ―健康経営優良法人2026―認定申請 ・ ストレスチェック実施						○	○	・ 大府市健康プログラムの参加費補助、ならびに所内チーム対抗戦の開催 ・ ストレスチェックの実施 ・ 健康習慣アンケート、アンケート結果によるフィードバックセミナーの実施 ・ ―健康経営優良法人2025―の認定取得 ・ 朝礼時の―ラジオ体操―実施 ・ あいち女性輝きカンパニー認証取得	総務企画課	
		・ 会員管理システムの運用	・ 個別事務マニュアル作成とシステムの運用と改善						○	◎	・ 5年度から会員管理システムの運用を開始 ・ 業務内容見直し ・ 手続き、書面等の見直し	総務企画課	
		・ 各メディア掲載数拡大に向けたプレスリリースの質的向上及び当所広報強化(再掲)	・ 会員含め、行政・関係団体等との情報共有を密にし、有益な情報を発信 ・ メディアとの定期的な情報交換(再掲)				○			○	○	・ 記事掲載件数33件(令和7年1月28日現在)(再掲) ・ メディアとの情報交換会開催(令和6年7月5日)(再掲)	総務企画課
		・ ニーズの多様化や専門化に対応する職員能力の向上	・ 中小企業大学の専門研修受講 日商等のオンラインセミナー・説明会の受講 ・ 資格取得支援制度の検討							○	○	・ 能登半島被災地事業所支援派遣(5-29-31) ・ 中小企業支援担当者等研修専門課程―販路拡大のためのメディア戦略支援―受講(6/11-13) ・ 健康経営アドバイザー資格更新	相談所
	3 組織・財政基盤の強化	・ 部会、委員会、支部活動の活性化	・ 活動の前提となる実態調査やニーズの把握 ・ 行政等の支援施策等や先進事例の収集、研究 ・ 調査研究活動の会員への還元							○	○	・ R6、7月に会員ニーズ調査を実施し、課題解決事業の基礎資料を作成	相談所・ 総務企画課
		・ 議員総会、常議員会等運営の改善	・ 参加者の活発な発言を誘導							○	○	・ 情報交換の時間を設け発言を促した結果、活動状況等の報告が行われた。 ・ 正副会頭会議のペーパーレス化を進めた。	総務企画課
		・ 各種共済制度等への加入促進、食料備蓄の推進(ヘルパン171)による手数料確保	・ 会報・HP・チラシでの周知 ・ 新規会員(加入3年まで)への当所取扱い共済(保険)の周知徹底 ・ 風車共済還元事業として、イベントなど行う際には、口数も考えて応募するなど公平になるよう配慮する。							○	○	・ 会報記事や同封チラシにて、周知を図った。 ・ 風車共済担当者と中小企業共済、各担当者で連携を取り巡回を実施。風車共済満了後の中小企業共済加入について提案した。(27事業所) ・ 風車共済加入事業所に配当金明細配布時に、還元事業のチラシを入れ、抽選会を実施。15事業所へ賞品をお渡しする際に、独自給付の案内や、追加加入がないかなど聞き取りを行った。 ・ Helpan3事業所28口受注により(78,000円手数料)	総務企画課 ・ 相談所
		・ 会員、会費収入の拡大	・ 定期的な事業所巡回訪問の実施 ・ 加入特典等の検討 ・ 会議所リーフレット、HPを活用した会議所事業のPR実施(非会員勧奨)	●						○	○	・ おぶちゃん商品券に参加した非会員事業所への加入勧奨実施 ・ 各種補助金等の申請支援による加入勧奨実施 ・ 令和7年2月28日(会員数1,731、組織率52.6%) ・ 令和6年3月31日(会員数1,731、組織率53.6%) 注) 組織率特別会員含まず。	総務企画課 ・ 相談所
		・ 労働保険制度の周知及び加入勧奨	・ 会報、HPでの周知 ・ 窓口相談、巡回での周知							○	○	・ 会報9月号に労働保険・一人親方保険記事掲載 ・ 事務手数料の適正化を図るため最低金額を設定(R5年度分より)	相談所・ 総務企画課
		・ 業務災害補償プラン等日商保険制度の周知	・ 会報・HP・チラシでの周知 ・ 労働保険更新資料郵送時、パンフ同封 ・ 新規会員加入資料へのパンフ同封							○	○	・ 会報、窓口相談等により日商保険制度説明及び会員団体割引について周知を図った。特に9月号会報の防災特集にて、日商保険制度の手続の仕方を掲載。 ・ 取扱い保険会社(会員)と情報交換し契約相談者を紹介	相談所・ 総務企画課
		・ 共済制度の周知及び加入推進	・ 会報・HP・チラシでの周知 ・ 新規会員(加入3年まで)への当所取扱い共済(保険)の周知徹底 ・ 風車共済制度の推進および独自給付制度利用促進等、巡回による加入者へのアフターフォロー(目標：15件)(再掲)							○	○	・ 会報記事や同封チラシにて、周知を図った。 ・ 共済担当者と連携を図り、共済および当所取扱い保険等の加入勧奨やフォローを行った。 ・ 新規加入者を中心に、訪問・電話にて風車共済・中小企業共済の案内を行った。 ・ 風車共済年齢満了者、会議所健康診断受診者が所属する事業所に訪問し、中小企業共済の案内を行った。 ・ 風車共済加入事業所を対象に商品等が当たる還元事業を実施した。	総務企画課 ・ 相談所
		・ 新規会員への会議所活用の周知	・ 新規会員に対する訪問の強化 ・ 既存会員への巡回強化	●						○	○	・ 5年以内未接触事業所と接触し、各種支援策、共済等の紹介をすると共に事業所のニーズ把握に努めた。(86事業所R7.2.28)(再掲) ・ R6、7月に会員ニーズ調査を実施し、課題解決事業の基礎資料を作成 ・ 新規加入事業所への訪問を実施(64事業所R7.2)	総務企画課 ・ 相談所
		・ 役員・議員改選	・ スムーズな役員・議員改選	●	●					○		-	

Ⅱ 収支予算

令和7年度 収支予算総括表

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

(単位:千円)

会 計 区 分		本年度予算額	前年度予算額	対比増減(△)
1	一般会計	119,389	123,459	△ 4,070
2	中小企業相談所特別会計	92,421	90,671	1,750
3	共済事業特別会計	27,401	30,601	△ 3,200
4	労働保険事務組合一般会計	14,610	12,503	2,107
5	特定退職金共済事業特別会計	7,420	7,510	△ 90
6	商品券事業特別会計	258,751	258,001	750
	小 計	519,992	522,745	△ 2,753
7	財政調整資金積立金特別会計	208,097	208,051	46
8	退職給与資金積立金特別会計	101,706	95,645	6,061
	小 計	309,803	303,696	6,107
9	労働保険事務組合労働保険料特別会計	85,000	80,000	5,000
	合 計	914,795	906,441	8,354

令和7年度 一般会計収支予算書

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1.	会費	58,280	58,280	0	
	1. 一般会費	39,500	39,500	0	
	2. 特別会費	18,780	18,780	0	役員・議員特別会費
2.	加入金	100	100	0	
	1. 加入金	100	100	0	
3.	事業収入	9,924	9,074	850	
	1. 事業賦課金	4,610	3,760	850	1. 講習会等参加負担金 部会事業参加負担金 1,700 大府ビジネスカレッジ参加負担金 60 ビジネスセミナー参加負担金 110 2. その他事業負担金 優良従業員表彰等 140 3. 産業文化まつり出展者負担金 2,000 4. 新年賀詞交歓会参加負担金 3,000円×200名 600
	2. 検定事業収入	1,104	1,104	0	珠算、簿記
	3. 広告料収入	2,200	2,200	0	会報・チラシ・広告料
	4. 手数料収入	2,010	2,010	0	1. 団体事務代行手数料 大府ライオンズクラブ 大府ロータリークラブ 1,750 半田法人会大府支部 2. その他 リサイクル業務受託、Helpan等 260
4.	交付金	16,833	17,833	△ 1,000	
	1. 補助金	14,833	14,833	0	1. 小規模育成指導費補助金(市) 6,283 2. 産業文化まつり交付金(市) 2,800 3. げんき商店街推進事業費補助金(県・市) 2,750 4. あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金(県) 3,000
	2. 助成金	2,000	3,000	△ 1,000	「働き方改革推進支援助成金」団体推進コース(国)
5.	雑収入	251	171	80	
	1. 預金利子	1	1	0	
	2. 雑収入	250	170	80	
6.	繰入金	21,501	20,001	1,500	
	1. 共済事業特別 会計繰入金	14,500	17,000	△ 2,500	
	2. 労働保険事務組合 一般会計繰入金	7,000	3,000	4,000	
	3. 商品券事業 特別会計繰入金	1	1	0	
7.	繰越金	12,500	18,000	△ 5,500	
	1. 前期繰越金	12,500	18,000	△ 5,500	
合 計		119,389	123,459	△ 4,070	

支出の部

(単位:千円)

勘定科目			本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明		
款	項	目						
1. 事業費	1. 一般事業費		40,150	44,640	△ 4,490			
		1. 企画調整費	4,350	4,300	50	1. 役員研修事業費 600 2. 地域振興費 1,650 3. 支部活動費 1,800 4. 会員加入勸奨推進費 300		
		2. 調査広報費	6,600	6,760	△ 160	1. 会報発刊費 3,500 2. 情報資料配布費 3,100		
		3. 商工業振興費	6,870	7,305	△ 435	1. 部会・委員会活動費 800 2. 部会調査研究費 700 3. 検定事業費 240 4. 住宅修繕相談事業費 310 5. 法定台帳整備費 110 6. ビジネスマッチング事業費 120 7. 産学官連携推進事業費 1,400 8. 現場カイゼン実践塾(旧橋本実践塾)事業費 2,900 9. 大府ビジネスカレッジ(旧社会人学舎) 140 10. 防災事業費 50 11. 会員交流会事業費 100		
		4. 労務対策費	830	1,275	△ 445	1. ゴルフ委員会関係費 50 2. 優良従業員表彰事業費 450 3. 健康経営推進事業費 300 4. ビジネスセミナー事業費 30		
		5. 情報化対策費	2,400	4,600	△ 2,200	所内情報環境整備		
		6. 産業文化まつり事業費	5,600	5,600	0	産業文化まつり設営費、イベント費、運営管理費		
		7. 青年部・女性会活動費	2,400	2,400	0			
		8. げんき商店街推進事業費	5,500	5,500	0	商業振興、PR動画作成、セミナー、ふれあいゼミナール		
		9. まちづくり検討事業費	300	600	△ 300			
		10. 花めぐり事業費	3,300	3,300	0			
		11. 働き方改革推進支援事業費	2,000	3,000	△ 1,000			
		2. 管理費			58,100	57,360	740	
			1. 給与費		27,200	26,010	1,190	
1. 給料	18,000			16,890	1,110	4名		
2. 諸手当	2,650			2,160	490	地域手当、通勤手当、管理職手当、扶養手当、住居手当		
3. 期末勤勉手当	5,450			4,860	590			
	4. その他人件費		1,100	2,100	△ 1,000			
2. 時間外勤務手当			1,000	1,500	△ 500			
	1. 時間外勤務手当		1,000	1,500	△ 500			
3. 福利厚生費			5,450	5,100	350			
	1. 福利厚生費		4,400	4,100	300	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、子ども子育て手当拠出金等		
	2. 福祉費		1,050	1,000	50	職員厚生費		
4. 旅費交通費			600	800	△ 200			
	1. 旅費交通費		600	800	△ 200			
5. 事務費			15,900	15,900	0			
	1. 事務費	5,000	5,000	0	消耗品費、通信運搬費、什器備品費、賃貸料、振替手数料、印刷費			
	2. 車両費	1,000	1,000	0	車検費用、維持管理費、燃料費			
	3. 家屋費	9,900	9,900	0	1. 光熱用水費 2,500 2. 会館維持管理費 1,800 3. 環境整備費 1,100 4. 会館賃借料 4,500			

支出の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項 目				
	6. 会議費	2,000	2,000	0	
	1. 会議費	2,000	2,000	0	議員総会、常議員会、新年賀詞、その他会議費
	7. 渉外費	1,000	1,000	0	
	1. 渉外費	1,000	1,000	0	祝儀、慶弔費
	8. 公課分担金	4,950	5,050	△ 100	
	1. 公課	2,600	2,600	0	
	2. 分担金	2,350	2,450	△ 100	1. 日本商工会議所 1,500 2. その他関係団体 800 3. 職員研修負担金 50
3. 繰出金	1. 特別会計繰出金	20,725	21,200	△ 475	
	1. 中小企業相談所特別会計繰出金	16,000	17,000	△ 1,000	
	2. 商品券事業特別会計繰出金	3,125	2,750	375	
	3. 退職給与資金積立金特別会計繰出金	1,600	1,450	150	
4. その他支出		2	2	0	
	1. 借入金返済等支出	1	1	0	
	2. 出資金	1	1	0	
5. 予備費	1. 予備費	412	257	155	
	1. 予備費	412	257	155	
合 計		119,389	123,459	△ 4,070	

令和7年度 中小企業相談所特別会計収支予算書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1.	事業収入	14,600	14,650	△ 50	
	1. 事業賦課金	460	460	0	1. 講習会等参加負担金 100 2. 創業支援事業負担金(東浦町商工会) 360
	2. 手数料	8,040	7,740	300	1. 記帳機械化指導手数料 指導対象 90企業 7,700 2. 小規模企業共済等手数料 340
	3. 受託料	6,100	6,450	△ 350	1. 日商等事業受託料(国) 4,700 2. 小規模事業者持続化補助金受託料(国) 50 3. 伴走型小規模事業者支援推進事業受託料(国) 1,350
2.	交付金	55,520	55,020	500	
	1. 県補助金	41,100	40,600	500	小規模事業経営支援事業費補助金
	2. 市補助金	11,920	11,920	0	経営改善普及事業費補助金
	3. 助成金	2,500	2,500	0	創業等支援事業費助成金
3.	雑収入	1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	
4.	繰入金	16,000	17,000	△ 1,000	
	1. 一般会計 繰入金	16,000	17,000	△ 1,000	
5.	繰越金	6,300	4,000	2,300	
	1. 前期繰越金	6,300	4,000	2,300	
合 計		92,421	90,671	1,750	

支出の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 事業費	1. 事業費	37,000	37,440	△ 440	
	1. 指導事業費	23,080	23,420	△ 340	1. 講習会開催費 700 2. 金融指導事務費 20 3. 記帳機械化指導事務費 130 4. 記帳指導職員設置費 14,700 5. 日商等委託事業費 4,700 6. 創業支援事業費 600 7. 伴走型小規模事業者支援推進事業費 1,350 8. 若手後継者等育成事業費 880
	2. 資質向上対策事業費	200	300	△ 100	中小企業大学校研修費
	3. 特別研究指導費	720	720	0	
	4. 事務局長等設置費	9,800	9,800	0	
	5. 中小企業支援センター設置事業	3,200	3,200	0	
2. 管理費		49,732	47,402	2,330	
	1. 給与費	40,300	38,050	2,250	
	1. 給料	25,350	24,300	1,050	補助対象職員 6名
	2. 諸手当	3,950	3,650	300	〃 扶養手当、地域手当、管理職手当 〃 通勤手当、住居手当
	3. 期末勤勉手当	11,000	10,100	900	〃 期末・勤勉手当
	2. 時間外勤務手当	700	1,000	△ 300	
	1. 時間外勤務手当	700	1,000	△ 300	
	3. 福利厚生費	6,910	6,530	380	
	1. 健康保険料	2,400	2,300	100	補助対象職員6名
	2. 厚生年金保険料	3,800	3,550	250	〃
	3. 雇用保険料	400	400	0	〃
	4. 労災保険料	150	130	20	〃
	5. 子ども子育て手当拠出金	160	150	10	〃
	4. 旅費交通費	272	272	0	
	1. 指導旅費	200	200	0	
	2. 研修旅費	70	70	0	
	3. 会議所基礎研修出席旅費	2	2	0	
	5. 事務費	1,500	1,500	0	
	1. 指導事務費	1,500	1,500	0	消耗品費、通信運搬費、図書費、賃貸料、什器備品等
	6. 公課分担金	50	50	0	
	1. 分担金	50	50	0	関係団体負担金
3. 繰出金	1. 特別会計繰出金	4,850	4,700	150	
	1. 退職給与資金積立金特別会計繰出金	4,850	4,700	150	
4. 予備費	1. 予備費	839	1,129	△ 290	
	1. 予備費	839	1,129	△ 290	
合	計	92,421	90,671	1,750	

令和7年度 共済事業特別会計収支予算書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月 31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1.	手数料	26,400	27,900	△ 1,500	
	1. 取扱手数料	26,400	27,900	△ 1,500	1. 中小企業共済 3,320 2. 風車共済 16,000 3. 大型・総合・アクセス・風車等事務手数料 5,080 4. 業務災害補償プラン・ビジネス総合保険等 2,000
2.	雑収入	1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	
3.	繰越金	1,000	2,700	△ 1,700	
	1. 前期繰越金	1,000	2,700	△ 1,700	
合 計		27,401	30,601	△ 3,200	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1.	事業費	1,110	1,110	0	
	1. 事業推進費	210	210	0	共済事業キャンペーン費
	2. 支部活動費	900	900	0	
2.	給付金	2,000	2,500	△ 500	
	1. 見舞金等 給付金	2,000	2,500	△ 500	風車共済見舞金、祝い金、定期健康診断補助
3.	給与費	6,350	4,700	1,650	
	1. 給料	4,100	2,950	1,150	1名
	2. 諸手当	600	500	100	同上 地域手当、通勤手当
	3. 期末勤勉手当	1,650	1,250	400	同上 期末・勤勉手当
4.	時間外手当	200	200	0	
	1. 時間外勤務手当	200	200	0	
5.	福利厚生費	1,100	800	300	
	1. 福利厚生費	1,100	800	300	同上 社会保険料等
6.	管理費	1,070	1,170	△ 100	
	1. 支払手数料	600	700	△ 100	口座振替手数料 運営手数料等
	2. 旅費交通費	120	120	0	
	3. 事務諸費	300	300	0	ベストウィズクラブ会費
	4. 会議費	50	50	0	
7.	繰出金	15,050	17,400	△ 2,350	
	1. 一般会計繰出金	14,500	17,000	△ 2,500	
	2. 退職給与資金 積立金特別会 計繰出金	550	400	150	
8.	予備費	521	2,721	△ 2,200	
	1. 予備費	521	2,721	△ 2,200	
合 計		27,401	30,601	△ 3,200	

令和7年度 労働保険事務組合一般会計収支予算書

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 事業収入		7,000	6,500	500	
	1. 事務手数料	7,000	6,500	500	一人親方分含む
2. 交付金		3,309	3,002	307	
	1. 報奨金	3,300	3,000	300	労働保険事務組合報奨金(愛知労働局)
	2. 適用促進活動費	9	2	7	
3. 雑収入		1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	
4. 繰越金		4,300	3,000	1,300	
	1. 前期繰越金	4,300	3,000	1,300	
合 計		14,610	12,503	2,107	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 給与費		4,800	5,950	△ 1,150	
	1. 給料	3,000	3,750	△ 750	1名
	2. 諸手当	600	650	△ 50	同上 地域手当、通勤手当
	3. 期末勤勉手当	1,200	1,550	△ 350	同上 期末・勤勉手当
2. 時間外勤務 手当		250	250	0	
	1. 時間外勤務手当	250	250	0	
3. 福利厚生費		850	1,000	△ 150	
	1. 福利厚生費	850	1,000	△ 150	同上 社会保険料等
4. 管理費		910	860	50	
	1. 電算処理費	300	300	0	
	2. 事務諸費	600	550	50	
	3. 旅費交通費	10	10	0	
5. 繰出金		7,400	3,500	3,900	
	1. 一般会計繰出金	7,000	3,000	4,000	
	2. 退職給与資金 積立金特別会 計繰出金	400	500	△ 100	
6. 予備費		400	943	△ 543	
	1. 予備費	400	943	△ 543	
合 計		14,610	12,503	2,107	

令和7年度 特定退職金共済事業特別会計収支予算書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 共済事業掛 金収入		6,518	6,800	△ 282	
	1. 保険料	6,518	6,800	△ 282	
2. 事業収入		201	209	△ 8	
	1. 事務費収入	201	209	△ 8	560口 × 1,000円 × 12ヶ月 × 0.03
3. 企業年金契 約給付金受 入		100	100	0	
	1. 給付金受入	100	100	0	
4. 雑収入		1	1	0	
	1. 雑収入	1	1	0	
5. 繰越金		600	400	200	
	1. 前期繰越金	600	400	200	
合 計		7,420	7,510	△ 90	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 事業費		50	50	0	
	1. 事業推進費	50	50	0	事業推進キャンペーン費
2. 共済事業給 付金		100	100	0	
	1. 退職金	100	100	0	
3. 管理費		70	70	0	
	1. 事務諸費	60	60	0	事務用品、口座振替手数料等
	2. 旅費交通費	10	10	0	
4. 支払保険料		6,518	6,800	△ 282	
	1. 共済事業積立金	6,518	6,800	△ 282	
5. 予備費		682	490	192	
	1. 予備費	682	490	192	
合 計		7,420	7,510	△ 90	

令和7年度 商品券事業特別会計収支予算書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

款	勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説	明
	項					
1. 事業収入		210,500	210,500	0		
	1. 売上	210,000	210,000	0		
	2. 登録料	500	500	0	非会員参加負担金	
2. 交付金		45,125	44,750	375		
	1. 補助金(県、市)	45,125	44,750	375	プレミアム分42,000、事務費3,125	
3. 雑収入		1	1	0		
	1. 雑収入	1	1	0	預金利息	
4. 繰入金		3,125	2,750	375		
	1. 一般会計繰入金	3,125	2,750	375		
合 計		258,751	258,001	750		

支出の部

款	勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説	明
	項					
1. 事業費		252,000	252,000	0		
	1. 商品券発行費	252,000	252,000	0	商品券費	
2. 事務費		6,250	5,500	750		
	1. 印刷費	1,500	1,500	0		
	2. 広告宣伝費	650	400	250		
	3. 消耗品費	1,100	1,100	0		
	4. 事務諸費	3,000	2,500	500		
3. 予備費		501	501	0		
	1. 予備費	501	501	0		
合 計		258,751	258,001	750		

令和7年度 財政調整資金積立金特別会計収支予算書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

収入の部

(単位：千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 繰越金		208,096	208,050	46	
	1. 前期繰越金	208,096	208,050	46	預金198,357 国債 9,739
2. 雑収入		1	1	0	
	1. 預金利息	1	1	0	
合 計		208,097	208,051	46	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 財政調整支出金		1	1	0	
	1. 財政調整支出金	1	1	0	
2. 財政調整資金 積立金		208,096	208,050	46	
	1. 財政調整資金 積立金	208,096	208,050	46	
合 計		208,097	208,051	46	

令和7年度 退職給与資金積立金特別会計収支予算書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

収入の部

(単位：千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 繰入金		7,400	7,050	350	
	1. 一般会計繰入金	1,600	1,450	150	
	2. 中小企業相談所 特別会計繰入金	4,850	4,700	150	
	3. 共済事業特別会計 繰入金	550	400	150	
	4. 労働保険事務組合 一般会計繰入金	400	500	△ 100	
2. 雑収入		1	1	0	
	1. 預金利息	1	1	0	
3. 繰越金		94,305	88,594	5,711	
	1. 前期繰越金	94,305	88,594	5,711	
合 計		101,706	95,645	6,061	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 退職給与金		1	1	0	
	1. 退職給与金	1	1	0	
2. 退職給与資 金積立金		101,705	95,644	6,061	
	1. 退職給与資金積立金	101,705	95,644	6,061	
合 計		101,706	95,645	6,061	

令和7年度 労働保険事務組合労働保険料特別会計収支予算書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

収入の部

(単位:千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 受取保険料		85,000	80,000	5,000	
	1. 労働保険料	85,000	80,000	5,000	徴収保険料
合	計	85,000	80,000	5,000	

支出の部

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	説 明
款	項				
1. 支払保険料		85,000	80,000	5,000	
	1. 労働保険料	85,000	80,000	5,000	納付保険料
合	計	85,000	80,000	5,000	

大府商工会議所定款抜粋

(目的)

第1条 本商工会議所は、地区内における商工業者の共同社会を基盤とし、商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資し、もってわが国商工業の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第7条 本商工会議所は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。
- (2) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。
- (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。
- (4) 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。
- (5) 商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。
- (6) 輸出品の原産地証明を行うこと。
- (7) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。
- (8) 商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。
- (9) 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。
- (10) 博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあつせんを行うこと。
- (11) 商事取引に関する仲介又はあつせんを行うこと。
- (12) 商事取引の紛争に関するあつせん、調停又は仲裁を行うこと。
- (13) 商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。
- (14) 商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。
- (15) 商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。
- (16) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。
- (17) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。
- (18) 前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

大府商工会議所

大府市中央町五丁目 70 番地

TEL <0562> 47 - 5000 (代表)

FAX <0562> 46 - 9030